

平成27年度第1回水産研究所研究評価委員会（中間・事前評価結果）

日時 平成27年12月17日（木）9時30分から14時00分まで
 場所 水産研究所2F会議室
 委員 (大) 三重大学 大学院生物資源学研究所 教授 神原 淳
 (国研) 水産総合研究センター 増養殖研究所 業務推進部長 乙竹 充
 三重県漁業協同組合連合会 指導部長 植地 基方
 北村物産株式会社 代表取締役専務 北村 裕司

中間評価 継続予定課題
 「英虞湾漁場環境調査」
 「アワビ放流効果向上事業」
 「革新的イセエビ幼生飼育技術の開発」

評価項目を研究の進捗状況、目標達成の可能性、課題の取扱い（研究継続の可否）とし、それぞれの課題について評価を実施した。結果は下表のとおりで、課題の取扱いでは、全課題とも、全委員が「継続して課題を完成させる」と評価した。

中間評価結果（数字は委員4名中の該当委員数）

| 課題名 | 進捗状況 | | | | 目標達成の可能性 | | | | 課題の取扱い | | |
|------------------|------|------|------|----|----------|----|------|-------|-----------|-----------------|-------|
| | 計画以上 | 目標通り | やや遅れ | 遅れ | 非常に高い | 高い | やや低い | 極めて低い | 継続して完成させる | 課題整理 予算縮小が必要 | 中止すべき |
| 英虞湾漁場環境調査 | — | 4 | — | — | 1 | 3 | — | — | 4 | — | — |
| アワビ放流効果向上事業 | 2 | 2 | — | — | 2 | 1 | 1 | — | 4 | — | — |
| 革新的イセエビ幼生飼育技術の開発 | 3 | 1 | — | — | 1 | 3 | — | — | 4 | — | — |

事前評価 平成28年度の新規予定課題
 「伊勢湾産アサクサノリの特産化に向けた研究」
 「アユ資源回復のための放流効果向上対策事業」
 項目を研究の必要性、効率性、有効性とし、各項目について5段階（5点：かなり高い、4点：やや高い、3点：普通、2点：やや低い、1点：かなり低い）の評価を実施した。
 結果は下表のとおりで、両事業の総合評価は、4以上（かなり高い）であった。

事前評価結果（数字は委員4名の平均得点）

| 課題名 | 必要性 | 効率性 | 有効性 | 総合評価 (平均) |
|----------------------|-----|-----|-----|--------------|
| 伊勢湾産アサクサノリの特産化に向けた研究 | 4.5 | 4.0 | 4.3 | 4.3 |
| アユ資源回復のための放流効果向上対策事業 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 |